

活動報告（2月レポート）

担当：農村整備課

表題：くんま水車の里（浜松市天竜区）で大寒謝祭が開催されました

日時：令和6年2月18日（日）

場所：静岡県浜松市天竜区



（アルプホルンによる演奏）



（配布されたしし鍋）

2月18日（日）、「ふじのくに美しく品格のある邑」に登録されている「夢未来くんま」（浜松市天竜区熊）が「道の駅くんま水車の里」で大寒謝祭（だいかんしゃさい）を開催しました。

大寒謝祭は今年で27回目を迎え、当日小雨が降る中でも約600人が訪れるほど地元にも愛されているイベントです。

当日は、身体の芯まで響く天竜高校生による天竜太鼓の演奏から始まり、バルーンアートや餅投げ等の子どもから大人まで楽しめる催し物が開かれました。また、旧熊中学校で2006年から毎年9月頃にアルプホルンのセミナーが行われており、その講師と参加者10人によるアルプホルンの伸びやかな演奏も場を盛り上げました。

催し物以外にお汁粉や干し芋等の物産販売もあり、会場から車で約15分の大栗安棚田（おおぐりやすたなだ）で保全活動を行う大栗安棚田倶楽部が作った棚田米を使用したあんこ餅がお昼には完売していました。そして、中山間地域でイベント等の手伝いを行う静岡文化芸術大学の学生団体LA-VOC（ラボック）の4名も参加しており、しし鍋の配布や五平餅の店番等を手伝っていました。

西部農林事務所は、地域の魅力を伝える当組織の活動を今後も支援していきます。